

令和元年度

学校関係者評価書

評価対象期間 自：平成31年 4月 1日
至：令和 2年 3月31日

令和2年9月17日

中央動物専門学校
学校関係者評価委員会

目 次

1. 目的	2
2. 学校関係者評価	2
3. 評価項目	2
4. 組織	2
(1) 学校関係者評価委員会	2
(2) 任期	2
5. 実施	2
6. 評価要領	3
7. 自己評価概要	3
(1) 自己評価項目	3
(2) 自己評価結果と改善点の概要	5
8. 学校関係者評価結果	9
(1) 会議進行	9
(2) 評価結果	10
9. 総括	10
10. 項目別評価結果	12

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を教授できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、令和元年度の学校業務について、学校自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

3. 評価項目

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

4. 組織

(1) 学校関係者評価委員会

委員：大野 公嗣	全日本動物専門教育協会 専務理事
新井富士雄	東田端自治会 会長
田中 淳	卒業生
會田真由美	保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード 取締役
伊澤 伸元	鳥と小動物の病院 falconest 院長
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフソリューションズ 代表取締役

(敬称略・順不同)

(2) 任期

委員任期を平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日とする。

5. 実施

令和 2 年 9 月 17 日（木）中央動物専門学校 1915 教室において、学校関係者評価委員会が開催された。

6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し、確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明をしたうえで、学校関係者としての評価を実施した。

なお、会議の進行及び事務については学校が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

7. 自己評価概要

(1) 自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価のガイドライン」に準拠し、本校の実情に合わせ必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

ア. 教育理念・目的・育成人材像

- ① 理念・目的・育成人材像は定められているか
- ② 学校における職業教育の特色は何か
- ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか

イ. 学校運営

- ① 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ② 学則・細則・内規等は整備されているか
- ③ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ④ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか
- ⑤ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

ウ. 教育活動

- ① 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ② カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが行われているか
- ③ 授業評価の実施体制はあるか
- ④ 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑤ 成績評価の基準は明確になっているか
- ⑥ 教員資質向上のための研修が行われているか

エ. 教育成果

- ① 就職率の向上が図られているか
- ② 資格取得率の向上が図られているか
- ③ 退学率の低減が図られているか
- ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

オ. 学生支援

- ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者と適切に連携しているか

カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ③防災に対する体制は整備されているか

キ. 学生の募集と受け入れ

- ①学生募集活動は、適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか
- ④学納金は妥当なものとなっているか

ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ③財務について会計監査が適正に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- ④自己評価結果を公開しているか

コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

サ. 国際交流(留学生)

- ①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
- ②留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか
- ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

(2)自己評価結果と改善点の概要

ア. 教育理念・目的・育成人材像

学生及び保護者へは種々の機会をとらえて教育の理念・目的等の浸透に努め、また日々の接触を通じて教職員はその理解度を推し量るべく努めているが、依然として理解不足で入学する学生は多い。周知を行っているものの、更なる理解度向上を図り、各種イベント等での説明が必要である。

一方で、企業等や地域社会に対しては接触機会が限定的であること、理念・目的等の理解度を推し量る方法が、成果（求人者数等）からの推定といった状況であることから、モニタリングに関する何らかの方策が求められる。

18歳人口の減少による学生募集を取り巻く環境が厳しさを増してくるなか、設置科の改編等による社会のニーズに合った学校づくりの継続的な検討が必要である。

本校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などの周知、理解度を向上させるために、これまで同様に、学生へは新入時のオリエンテーションでの指導や授業、日々のキャンパスライフを通じて機会の増加を図る。

保護者へは学校説明会や保護者懇談会を通じて、企業等へは合同企業説明会等を通じて、地域社会へは積極的に地元イベントへ参加し、学園祭等学内イベントを通じて、相互理解を図りながら実践的な職業教育の質向上に努める。

更に、学内の情報配信方法や入学前ガイダンス（新入生対象、保護者対象）の実施を検討し、周知徹底、理解度向上を図る。

社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想においては、数年前からの入学生の減少傾向を鑑みて設置学科の再編等の検討を実施してきたが、2019年6月に愛玩動物看護師法が制定・告示され、動物看護師の国家資格が決定し、その法の中で受験資格が3年履修と明記されたことを受けて、設置学科の再編として2021年度は動物看護科(2年制)を募集停止とし、動物看護研究科(3年制)のみを募集することを決定した。

イ. 学校運営

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備に関して、学内における動物愛護精神の全職員間の統一化、推進に向けた活動をより活発化する必要がある。

地域・近隣等からの苦情（クレーム）の際の是正処置及び予防処置においては、学内で迅速に対応し、情報共有ができるような体制を整備しているが、全体への周知及び情報共有を徹底する必要がある。また、クレームについては、都度迅速に対応、是正処置及び予防処置体制の改善に努めているが、完全になくすということとはできない。

前年度に学内で取り扱った校有動物及びモデル犬に関する事例を検証し、動物愛護精神の全職員間の認識、共通理解を図るなど、学内に組織化された「動物倫理委員会」の活動の頻度を上げ、その内容を全職員へ発信し、職員の動物に対する倫理感の統一を図っていく。

地域・近隣等からの苦情（クレーム）の際の是正処置及び予防処置においては、学内で迅速に対応し、情報共有ができるような体制を整備しているが、全体への周知の迅速化徹底化に向けて情報共有の方法を改善する。（回覧、メール配信等）

ウ. 教育活動

授業評価において、学生からの評価は実施されているが、教員による評価が実施されていない。

教員資質向上のための研修は行われているが、一部の教員のみ留まっており、全職員の意識向上へ啓発が十分でない。また、学生のメンタルケアや若年層が抱える問題対応の研修が十分でない。

教員の研修においては、組織的な取り組みをより強化させ、一部強制力を発揮しつつ、教員への積極的な参加を推奨し、全職員の意識向上の啓発を図る。

教員相互の授業評価の実施など、教育評価委員会が主導し、教員の授業評価の仕組みを構築する。

エ. 教育成果

資格取得率については、動物看護師統一認定機構の動物看護師資格の合格率が全国平均より低く、その改善が急務である。

退学率の低減について、学生の資質の低下や学習意欲減少等の要因は、教員の努力で対応しきれない部分もあるが、学生の精神的な悩みからの退学が増加傾向にあり、そのフォロー体制の強化も必要。

卒業後のキャリア形成への効果の把握においては、卒業後に頻繁に来校する卒業生を中心に把握しているが、全卒業生においては未だに把握できていない状態である。卒業生の動向の把握としては、同窓会と連携し、卒業生対象の研修会等を企画しているが、参加数が増えない現状にある。卒業生から情報を得る術があまりない。卒業生から学校へアプローチできる仕掛け作りが必要である。

動物看護師統一認定資格の合格率向上に向けて、C B Tを導入、試験対策指導の早期化を検討する。

退学率の低減については、特に精神的な問題のある学生相談の援助として、臨床心理士等の導入を検討する。また、担任・担当だけの面談に加えて、特に問題視される学生の対応については職員全体で多角的にアプローチし、学力的な問題、特に、担任以外にも気軽に相談できる学生相談体制づくりをより強化する。

卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握においては、情報を得る機会の創出として、インターンシップ後や就職内定後の企業訪問の頻度をあげ、企業から収集した情報の集約、それらの情報共有方法を再検討する。

卒業後のキャリア形成への効果の把握については、卒業生の日々の来校者の増加傾向

を受けて、収集した卒業生情報を教育活動の改善に反映させる。来校しない卒業生の状況把握の方法については継続して検討していく。

また、同窓会組織との更なる連携強化を図り、研修会においては卒業生が参加しやすい日程、内容の調査を実施し、卒業生の動向把握や在校生の就職へと繋がるような企画を展開する。

卒業生のアンケート調査を実施し、今後の教育活動の改善へ反映させる。

オ. 学生支援

各担任を中心とした個々の学生との相談体制は確立しているが、制度の利用度は高いとは言えない。また、昨今増加傾向にある精神的カウンセリングに対してはまだ完全な状況とは言えない。現代学生の心理的特徴や傾向を理解したうえでの相談・支援が必要である。本校の特徴のひとつである学内飼育動物の存在は、学生の精神面に大きなサポート役となっている面もあるが、専門のカウンセラーの常駐が困難な現状では、教職員のスキルアップは必要である。

学生からの相談については、カウンセラーや養護教諭を常駐させることが最も良いが、現状では賃金等のコスト面で雇用が厳しいため、月に何回かでも「臨床心理士」に依頼をし、相談可能な体制を試みることにする。

また、精神的な症例への対応や専門家による相談・治療が必要な場合など、公的なカウンセリング機関や専門医の紹介について、全職員が迅速な対応ができるよう情報共有を図り、その対応機関を明記したチラシを学内に設置し、学生が自発的に相談に行くことができる環境づくりを推進する。

カ. 教育環境

防災への対応として、学生・教職員のみならず、校内で飼育している多数の校有動物及び美容実習用モデル犬への対策も考慮する必要がある。あらゆる不測の事態を想定した設備の完備が理想であるが、現状は必要最低限の整備となっている。特に夏季の災害時に校有動物の退避先確保が難しい等、電力が途絶えた時の対応が完全とは言えない。

防災への対策として、校有動物の対応において、停電時の非常照明やフードの備蓄、飲料水や清掃用の水源確保もできているが、夏季に発生する災害を想定し空調設備が稼動しない場合の飼育動物の退避方法を考慮すると、自家発電装置の導入が理想だが、コスト的に厳しく、現存の施設内における退避場所、ルート等の方法を再検討し、緊急時の更なる万全な対応を期する。

キ. 学生の募集と受け入れ

入学案内書やホームページ、SNS等で教育成果を伝えた学生募集活動が実施されているが、SNSにおいては日々進化していく状況を踏まえ、更なる研究が必要である。

学生募集活動及び教育成果の伝え方については、従前の本校ホームページや学校案内書に加え、SNSの活用による情報発信の機会増加を図っているが、同分野他校のみならず異業種でのSNS活用状況等もリサーチし、本校での有効活用へ反映させる。

18歳人口減少という厳しい中でも、WEBの活用で広く本校の校名露出の機会増加を図り、動物分野希望者を掘り出し、志願者の割合を増加させ、入学定員の必達を目標としていく。

7-1及び7-2について、令和元年度の学生募集活動においては、入学定員190名を超える232名の出願があり、また、広報費の削減も実現したので、それぞれ評価を3から4とした。

ク. 財務

学校法人としての財務基盤は安定しているものの、本校における収支の均衡においては更なる改善が必要である。

予算計画においては、学納金収入と収支計画書の均衡を維持すべく、収支の均衡が取れる運営組織への抜本的な改善も含め、学校運営の見直しが必要である。

財政基盤の維持・安定・向上を図るために、一定数以上の入学者を確保し続け、退学・除籍などのドロップアウト対策を強化して改善を図り、学生納付金収入を確保することが急務である。

中期事業計画の再精査と、学校・学科・教職員等運営再編計画の立案、学生募集体制（広報体制）の更なる強化を図る。

ケ. 法令等の遵守

個人情報の保護については、ファイヤーウォールの導入やルーター設置等、ウィルスに対する適切な対策がとられているが、悪意を持った外部からのハッキングに対する体制は完全とは言えない部分がある。

ウィルスやハッキング対策においては、最新の情報収集と対策の調査を継続して行い、事例が起きた時には、迅速な対応ができるようにする。

コ. 社会貢献・地域貢献

現状の学生のボランティア活動においては、対象となる学科が限定的であり、全学的な参加体制が望ましい。全学生を対象とした各種ボランティア募集の依頼に際し、速やかに告知はしているが、ボランティアは自発的意思に基づくものであり、学校としては学生へ告知するに留まっている部分もある。

地域に対する公開講座として、学校近隣の飼い主対象の「犬のしつけ方教室」を実施しているが、各種公開講座・教育訓練の受託については、現状の人員では余力がなく、積極的に開発・実施ができていない。

学生のボランティア活動の奨励・支援として、新たに、地域猫活動、ボランティアトリマー等の情報提示や参加支援の検討を行う。また、単位認定や参加費用支援など学校補助の観点からの検討を図る。

地域に対する公開講座・教育訓練の受託については、生涯学習の観点からも対象者を広げて、地域のニーズ調査、実施可能な講座の企画・検討を推進していく。

サ. 国際交流(留学生)

留学生の受け入れ、在籍管理、学習支援において、特に問題はないが、留学生の入学後の学習状況を鑑みると、現行の入試制度以上の厳格化（日本語能力の確認、教育方針・目標の理解確認等）の検討も必要。

中央工学校グループとして、留学生の入学時の優遇制度の見直しを行ったことにより、今後は従前よりも目的意識や日本語能力の高い学生からの出願が見込まれる。

留学生の就職支援については、卒業後に就業査証を取得できる分野ではないことが、本校単独で対応でき得る問題ではない。継続的に、東京都専修学校各種学校協会や全国専門学校各種学校総連合会等関係団体での交渉を進めるべく一層の連携を図ることとする。

11-2 留学生の受け入れや在籍管理においては、行政に対しては適切な手続き及び報告が実施されているので、開校当初から「適正校」を維持しており、令和元年度も「在籍管理が適正に行われていると認められる教育機関（適正校）」として選定されたことを踏まえ、評価を3から4とする。

8. 学校関係者評価結果

(1) 会議進行

座長・坂本敏校長から、開会挨拶があり、学校評価概要（自己評価・学校関係者評価）、運営計画概要、コロナ禍の対応概要について説明、その後、職業実践専門課程の認定状況の報告、愛玩動物看護師法について配布資料に基づき説明をした。

ア. 主査の選任

坂本敏校長から、学校関係者評価の公正さを確保するため、主査選任の説明があり、委員から大野公嗣委員が選出された。

イ. 学校概要の報告

坂本敏校長から、自己評価書をもとに「建学の目的」、「教育方針」、「基本的運営方針」、「具体的方策」「現状の分析」学校評価の実施要領についての説明があった。

ウ. 自己評価結果の報告と質疑応答

自己評価委員会佐藤洋子委員長（教務部長）より、令和元年度業務における自己評価結果について、各評価項目について説明をし、評価結果を示した。

大野公嗣主査を中心に、自己評価項目にそって質疑応答が行われた。質疑応答の後、

評価結果及び意見を「評価シート」に記載した。

(2) 評価結果(評価の観点4項目に対する評価)

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、学校関係者評価委員の評価を得た。委員による意見を集約すると次の通り。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和元年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当な評価結果となっており、自己評価の内容はほぼ適切と判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

ほぼ適切と判断する。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策が適切かどうか

令和元年度学校運営計画を確認。基本的運営方針や運営重点項目や運営指針、具体的方策については適切と判断する。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

全体的には概ね適切と判断する。

9. 総括

令和元年度における学校業務について、自己評価結果の報告を受け、学校関係者としての評価を行った。全般的に妥当な自己評価結果であると判断した。学校関係者評価の観点4項目と照らし合わせても適切な結果であると総括する。

なお、学校関係者評価委員による各評価項目に対する意見の主なものは次の通り。

- ①自己評価は概ね妥当であると判断するが、(4) 教育成果の 4-3 においては、不向きな学生に対して、退学を踏みとどまらせることに疑問を感じる。他分野に興味を持って退学していく学生は後押しして送り出してあげるべきであり、外部への対面的な部分もあると思うが、退学率だけで評価すべきではない。十分な指導を行っていると思う。
- ②(4) 教育成果の 4-3 の項目で、学校を理解せずに入学してくる者が少なからずおり、ミスマッチによる学業不振が退学に繋がっていると思われる。入学募集の段階で未然に防ぐ対策の再考も必要。
- ③卒業生の保護者の立場から、カウンセラーや臨床心理士の導入を予定されていることについて、大変良いことだと思う。それにより、退学率の低減も期待される。
- ④新型コロナウイルス感染症の影響で、一気に学習環境が変わったことに驚いている。特にネット環境が充実し、オンライン授業等も円滑に行うことができている。ネット環境が構築されたことで、不登校であった学生の登校率が増えているという統計データも出ている。昨今の若者は対面的コミュニケーション能力が低下していると感じられるが、オンライン授業の対応や、今後はカウンセリング等も学校に登校せずともオ

ンラインで行えれば、サポートの幅も広がる。新型コロナ感染症対策のみならず、総合的な運営も多様化し、大きな投資ができたと思われる。大変な部分もあったが、歩を進められたと感じられる。

- ⑤新型コロナウイルス感染症対策においては、学生一人一人の意識が高いと思われ、感染者が出ておらず安心しているが、一部の企業では今年の就職、求人については無しという情報も出ており、学校として就職希望の卒業学年の学生への更なる就職指導サポートが必要。
- ⑥教育活動の中で、教員の資質向上のための研修が行われているかについては、評価が3となっはいるが、問題を認識し改善方策が出されているため、支障はない。学生のメンタルサポートについては、ファーストコンタクトは教員となるため、教員の意識向上のための研修はぜひ実施してもらいたい。

以上

10. 項目別評価結果

(1) 教育理念・目的・育成人材像

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(2) 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	学則・細則・内規等は整備されているか	4	3	2	1
2-3	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-4	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(3) 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
3-1	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-2	カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
3-5	成績評価の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教員資質向上のための研修が行われているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(4) 教育成果

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(5) 学生支援

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(6) 教育環境

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(7) 学生の募集と受け入れ

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	4	3	2	1
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(8) 財務

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(9) 法令等の遵守

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(11) 国際交流（留学生）

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
11-1	留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】